



道路冠水の軽減施策

板倉 篤 議員

問 新たな雨水貯留施設の計画は。

答 完成予定の川崎調整池等の効果を検証し検討していく。

問 雨水浸透マス設置事業の周知拡大は。

答 県はこれまでに1050基を設置した。今後も県と連携し、軽減効果が見込める地域を選定しながら周知を行い設置を推進したい。



完成が待たれる川崎調整池

子どもを性暴力から守る

問 子どもを性暴力から守るため導入される日本

版DBSに期待される効果は。

答 子どもに接する仕事に就く人の性犯罪歴の確認等事業者の責務が明確になることで、教職員だけでなく学校に関わる全ての人による性暴力を防ぐ更なる抑止力になると考える。

問 市の事業委託先に認定を求める考えは。

答 国や県の動向を注視し市長部局とも連携しながら慎重に進める。

児童生徒の熱中症予防

問 本市の熱中症対策ガイドラインは。

答 国や県の学校における熱中症対策ガイドラインを準用して予防に努めている。

発症時の対応も危機管理マニュアルで各学校・教職員の共通理解・共通行動を図っている。



上福岡七夕まつり・おおい祭りのごみ問題

鈴木 宏樹 議員

問 ごみ捨て場の設置数と集積分量は。

答 上福岡七夕まつりは4カ所設置し、竹飾りも含めたごみの総量は9960kg。おおい祭りは5カ所設置し、ごみの総量は1060kg。

ごみ箱を多く設置したとしても、来場客のマナーが向上しなくては会場内をきれいに保つことはできない。

問 上福岡七夕まつりのチラシの中にポイ捨て防止啓発やごみ捨て場の周知がないが対応は。

答 次年度開催にあたり、



少しのごみから山積みにな

と口の健康に対する理解を深め、より良い生活習慣を身に付けられるよう取り組む。

実行委員会で検討していきたい。

市内児童の歯科衛生や口腔ケア

問 口腔ケアの重要性と予防周知啓発は。

答 令和5年度における児童の口腔状況は、虫歯がある児童の割合が8・8%で令和元年度と比較して4・4ポイント減少している。

各小学校において、学校歯科医や歯科衛生士などの専門職と連携協力した歯科指導や周知啓発を行い、児童や保護者が歯

公民館にチラシを置いてほしいのは、利用者に何らかの情報を届けたいからだ。それを内容によって制限するのは、検閲にあたらないか。

問 市議会に提案されている議案に反対する趣旨のチラシは、一方の立場の内容であることから、公共施設への配架は不適切であると判断した。



市内公共施設には様々なチラシが置かれる

後援等とチラシ配架の承認の基準は

問 趣旨に賛同できない事業の場合は後援しないところがあるが、チラシ配架への影響は。

答 後援または協賛を申請された事業は、後援等の承認に関する要綱の承認基準の全てを満たすことが要件である。

今回のチラシ配架は、政治的中立性を損なうおそれに当たると判断し、再作成を依頼した。

意思決定支援とは

問 障がい福祉サービスや成年後見制度における本人の意思決定支援は。

答 自ら意思決定が困難な人に、可能な限り本人の意思が反映された生活を送ることができるよう支援していく。



小・中学校プールの今後は

山田 敏夫 議員

問 本市では、今年度から全校が民間施設を利用したプール授業を行っている。

学校プールの利活用が課題となるが、どうするのか。

答 プール解体の時期などを踏まえて、児童生徒への教育活動に資する活用方法を最優先に関係者や地域の方々に意見を伺いながら検討していきたい。

また、解体費用も数億円の規模になることから、計画的に実施していきたい。



公教育の質を高めること

問 義務教育の質を高め、一人ひとりに合った学びを実現していくためには、



公民館でのチラシ制限は検閲では

鈴木 啓太郎 議員



新たなスポーツイベントによる地域の活性化

川島 秀男 議員



福岡中央公園でマラソン大会を

の申請件数及び認定件数はどうなっているか。

答 令和6年8月末現在、3件の申請があり、そのうち1件が認定を受けている。

問 10月から始まる定期接種において、新しいワクチンの市民への情報提供は。

答 市では、予防接種全般について、ワクチンに関する説明書を予防接種を実施する市内の実施医療機関に配布するとともに、予診の際には十分な説明を実施するよう周知している。

また、ワクチン接種は強制されるものではないこと及び使用するワクチンの種類や効果、副反応等について市ホームページ等を活用して、接種希望者に対して適切な情報提供ができるよう努めている。

新型コロナウイルスの新規接種と定期接種

問 現在、本市における新型コロナウイルスの新規接種健康被害救済制度



水道水の有機フッ素化合物PFAS

塚越 洋一 議員

問 市の水源井戸から有機フッ素化合物が検出された。市の見解は。

答 国の暫定目標値を大きく下回り、安全・安心な水道水を給水できていると認識している。

水質検査結果は市報で公表、適切な情報発信に取り組んでいく。

住居表示板(街区表示板)の更新を

問 剥がれたり、見えにくくなっている住居表示板を取り換えるべきでは。

答 古いものは設置から50年以上が経過している。これまでも調査するなど検討してきたが実施



なんて書いてある

収集し、私道の寄附採納について研究していく。

答 私道の寄附には要件があり相談を受けた際には現地確認をするなど対応している。国の動向を確認し、他市の情報を